

鉄道ジャーナル

3 | 2002
No.425



もくじ

特集●首都圏通勤電車の現状

首都圏通勤電車ラインアップ2002 目黒義浩 9

大船-新宿-大宮を直通運転

湘南新宿ラインの可能性 鶴通孝/目黒義浩 24

JR東日本 東京圏における通勤輸送改善の取組み 相馬真 36

E231系 常磐快速線向け一般形直流電車 菅谷誠 44

E231系電車のプロフィール 編集部 46

民鉄向け通勤形標準車両の計画について 河合篤 48

出改札の革新 Suicaでタッチ&ゴー 鶴通孝 50

全線開業1周年 光が丘開業10周年

都営大江戸線に乗り降りして楽しむ 種村直樹/目黒義浩 54

列車追跡シリーズ-528 甲斐・信濃路のニューフェイス

E257系あずさ 平澤崇/山崎友也 60

◆鉄道各線の実態と問題を現地に見る 12

高山本線とその支線 一太多線/長良川鉄道/神岡鉄道 鈴木文彦 70

速報★JR貨物 EF510形が落成 83

◆鉄道政策ニュースを読む

国鉄の経営改善計画——昭和50年代 佐藤信之 84

RAILWAY TOPICS 88~99

京成スカイライナーAE100形リニューアル車 12月11日営業開始 88

広島電鉄西広島駅をリニューアル 低床車グリーンムーバースも増備 89

◆RAILWAY REVIEW 有田鉄道を守る運動の芽生え 種村直樹 92

◆RJ FLASH / RJ ESSENTIAL 100

◆ローカル私鉄 光と風と大地と⑩ 一畑電気鉄道 寺田裕一 103

特別企画

中国「東北地方」鉄道大周遊 PART・3

牡丹江→図們→琿春→図們→大連 鉄道ルート1,492km 竹島紀元/目黒義浩 107

BUS CORNER 特別版★中国の現在バス事情 鈴木文彦 117

シリーズ◆世界の鉄道めぐり 3

シベリア鉄道(前) 秋山芳弘 120

イギリスに高速気動車「ボイジャー」が登場 秋山芳弘 125

北への鉄路に湧く韓国 小牟田哲彦 126

Overseas Railway Topics 秋山芳弘 128

イメージチェンジが進むドイツ鉄道 東原昭彦 128

ウェカパス鉄道の古典機運転会 長瀬勇一 130

Ilha Formosa 麗しき島——台湾

高速鉄路 建設のあゆみ(11) 齋藤雅男 140

◆鉄道・軌道プロジェクトの事例研究 7

相模鉄道いずみ野線について 佐藤信之 146

編集・発行者 竹島紀元
発行所 (株)鉄道ジャーナル社
表紙デザイン 唯野信廣
表紙写真 目黒義浩
編集スタッフ 宮原正和/三浦衛/鶴通孝
杉浦誠/平賀耐哲/平澤崇
版下・DTP (株)サン・ブレーン
印刷所 凸版印刷(株)

首都圏の鉄道網は圧倒的な人口と経済活動を背景に、世界的にも例のない高密度の輸送を行っている。今日の鉄道網は、山手線電車が走る環状ルートを境界に外へは放射状に、内にはくもの巣状に張りめぐらされ、JR線は多くが緩急分離の複々線になっているが、私鉄線は改良途上にあり、都心部の地下鉄網との相互直通運転も特徴であろう。通勤時間帯の電車の混雑は、その過酷さから「通勤地獄」と表現された時代もあったが、さまざまな施策が奏功して混雑のピークはかなり下がった。一方で、東京駅周辺に片寄っていた中枢機能は都庁移転を機に新宿へ分散し、全体としての人の流動は変化しつつある。また、通勤圏の外縁化、新幹線通勤の増加などに加え、定期利用客の伸び悩みなど、通勤輸送そのものの質的な変化も生じている。出改札の自動化や構内でのサービス事業などで、駅の姿も変わった。そうしたことが通勤輸送向けの電車の設計や運用にも影響をもたらしているように、ラッシュだけが注目された首都圏の鉄道も大きな変化を余儀なくされるようである。

RAILWAY TOPICS Headline

- JR貨物 新型コンテナとコキ110形を新造
- <SLばんえつ物語> 今冬もクリスマス運転
- 富士急に「パノラマアルプス」改造の特急登場
- 京福嵐山線 モボ2001形に増備車が登場
- 甘木鉄道 軽快気動車AR300・400形導入
- JR九州キハ66・67形が大村線で運転開始
- 鉄建公団と運輸施設整備事業団を統合へ
- 山手線にもE231系 新デザインで登場
- JR旅客3社が3月にダイヤ改正を実施
- 九州新幹線用車両のデザインを発表
- 東急もE231系ベースの5000系を導入
- 東京モノレールがJR東日本の子会社に
- 京福電鉄(福井)は上下分離の三セクに
- 鹿児島市電がアルナ製超低床電車を導入

DIARY 2001/12 102

WIDE LENS 131

新刊紹介 138

ズームレンズ/魚眼 139

鉄道記事ざっくばらん 148

CONTENTS 153

タブレット/読者論壇 154

こちら「ジャーナル」編集室。/次号予告 156